

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587000101	科目番号 / Subject code	05870001
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	心身の健康と生命 (スポーツ医学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	安武 亨		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	安武 亨		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	安武 亨, 篠崎 彰子, 鎌田 幸治, 宮本 力		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	toru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	医学部・先端医育支援センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-7987		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:00-8:50 月、火、水		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	スポーツの側面より医学を学ぶ。		
授業到達目標 / Goal	医学の側面よりスポーツの種々の事項を説明できる。 スポーツパフォーマンスを向上させることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義・グループワーク		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	スポーツ、医学、栄養、外傷、トレーニング、歯		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	1. スポーツ医学研修ハンドブック基礎科目 第2版 文光堂 2. スポーツ医学研修ハンドブック応用科目 第2版 文光堂		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト (20点)。授業への参加状況 (50点)。グループ発表 (30点)。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	積極的に授業に参加すること。時間外グループワークができること。		
授業計画詳細			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション		
第2回	スポーツ栄養学 (1)		
第3回	スポーツ栄養学 (2)		
第4回	スポーツ栄養学 (3)		
第5回	スポーツ外傷総論		
第6回	ストレッチ		
第7回	筋力トレーニング		
第8回	スポーツ外傷各論		
第9回	スポーツリハビリテーション		
第10回	歯とスポーツ		
第11回	メンタルトレーニング、小テスト		
第12回	グループワーク: スポーツ医学の興味と疑問		
第13回	グループワーク: スポーツ医学 わかっていること知らないこと		
第14回	グループワーク: スポーツ医学 わかっていないことを知るために		
第15回	全体討論		
第16回			

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/04/01 ~ 2015/09/27		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587000901	科目番号 / Subject code	05870009
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	心身の健康と生命 (ライフサイクルとメンタルヘルス)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小澤 寛樹		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小澤 寛樹		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小澤 寛樹, 今村 明, 木下 裕久, 黒滝 直弘		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	工学部, 環境科学部		
担当教員研究室/Laboratory	医学部 精神神経科		
担当教員TEL/Tel	095-819-7293		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月水木 12-13時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまできちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらうことを目標としたい。		
授業到達目標/Goal	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学(必要であれば、人文科学・社会科学の知識)を通して、自分の確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになることを通じて、社会に貢献できる“新しい人。”(大江健三郎)になるためのメンタル・リテラシーを身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。各回終了ごとに、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学～」(小澤寛樹監訳、中外医学社) 「標準精神医学・第5版」(野村総一郎他編、医学書院)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義後に提出するレポート: 50% 講義中のディスカッションへの参加態度(意欲点): 50%		
受講要件(履修条件)/Requirements	本シラバスは今後変更される可能性があるため、受講予定者は履修登録時に再度本シラバスの内容を確認し、受講の有無を決定すること。		
学生へのメッセージ/Message for students	自分には関係ないと思いがちな心の病気・・・。実は誰にでもなりうる可能性がある、身近なものなのです。 この授業では、そんな心の病気に触れた映画を視聴し、メンタルヘルスについて学んでいきます。		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	「生きにくいと感じるあなたへ～コミュニケーションとは何か～」		
第2回	「統合失調症の実際」		
第3回	「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える～」		
第4回	「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学～」		
第5回	「私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視覚～」		
第6回	「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために～」		
第7回	「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い～」		
第8回	「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」		
第9回	「子どもが普通とは違う苦悩～発達障害について～」		
第10回	「抑うつとは何か?～気分障害について～」		
第11回	「親がボケた時、あなたはどうしますか?～認知症の基礎知識～」		
第12回	「知性とは何か?～ヒトの知性の発達と精神疾患との関係～」		
第13回	「自己チューな人たち～人格障害を考える～」		
第14回	「アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話～」		
第15回	「まとめ」		



学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587001301	科目番号 / Subject code	05870013
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	心身の健康と生命 (性と命(いのち))		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三浦 清徳, 井上 統夫, 増崎 雅子		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	三浦 清徳		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	三浦 清徳, 井上 統夫, 増崎 雅子		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
対象学生(クラス等) / Object Student	工学部・環境科学部		
担当教員研究室/Laboratory	大学病院産婦人科医局		
担当教員TEL/Tel	095-819-7363		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9時-17時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>母親の卵子と父親の精子とが受精し,受精胚になる。受精胚は細胞分裂を繰返しながら,子宮内膜に着床することで妊娠が成立する。その後,ヒトは胎芽期から胎児期までを母親の子宮内で過ごすことになる。出生後は,新生児期,幼児期,思春期を経て,生殖年齢に達すると次の世代を生み出す。そして,大人へと成長したヒトは,更年期から老年期を過ぎのちに生命の終焉を迎える。これはヒトの生命の誕生から死に至る過程であるが,医療の現場では生殖補助技術の発達と共に様々な生殖の可能性が恩恵と共に様々な問題が生じている。例えば,体外受精により,不妊症で従来の治療では自然妊娠できないヒトも妊娠することが可能になった。また,新たな生命は生殖細胞の受精による受精胚から誕生するものであったが,加齢技術の発達により,体細胞から生命が誕生しうる時代へと突入している。一方,生殖を男性と女性という性の視点から考えてみると,性同一性障害などの問題も明らかになっている。本講義では,生殖の視点を通じて,生命の発生から死に至る過程と医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について紹介する。本講義を通じていのちの意義について理解を深めて</p>		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 生命の発生から死に至る過程を理解する。</li> <li>2) 生殖医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について理解する。</li> <li>3) 生命(いのち)の意義について理解を深める。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	講義(60分)・小テストあるいはレポート(30分)		
授業内容/Class outline/Con			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	なし		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	全回小テストあるいはレポートを実施して評価する(100点)。		
学生へのメッセージ/Message for students	生命(いのち)の神秘について,産婦人科の専門医が,わかりやすい講義を行います。		
授業計画詳細			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	いのちのおこり		
第2回	オスとしての男		
第3回	SexとGender		
第4回	性の共同作業		
第5回	メスとしての女		
第6回	性の帰結		
第7回	創られた妊娠		
第8回	輪廻とクローン		
第9回	胎児という生き物		

第10回	生まれる！
第11回	性の調節
第12回	ただひとつの生命
第13回	家族のきずな
第14回	性の終焉
第15回	いのちの行方
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587001701	科目番号 / Subject code	05870017
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	心身の健康と生命 (老化と死)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池松 和哉		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池松 和哉		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池松 和哉, 益富 美津代, 田崎 修, 前田 隆浩		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	医学部医学科法医学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日、午後5時から6時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトの死、死に至る過程、老化、医療について多面的に考えるための素材を各講師が講義する。学生は、死の多面性について考え、議論し、最終的にレポートを作成する。		
授業到達目標/Goal	ヒトの老化や死の多面性について理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義、議論、レポート作成。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	老化、死		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	講義への出席と議論への参加、レポートによる総合評価		
授業計画詳細			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	9月28日 インタロダクション、老化と死 池松和哉 (森亮一: 医学部病理学)		
第2回	10月05日 老化の生物学的基盤 池松和哉 (森亮一: 医学部病理学)		
第3回	10月19日 寿命遺伝子 池松和哉 (森亮一: 医学部病理学)		
第4回	10月26日 脳の老化と疾患 池松和哉 (中嶋秀樹: 医学部神経内科)		
第5回	11月02日 高齢化社会と地域医療 池松和哉 (前田隆浩: 医学部地域医療学)		
第6回	11月09日 高齢化社会と地域医療 池松和哉 (門田耕一郎: 医学部地域医療学)		
第7回	11月16日 高齢者のリハビリテーション 池松和哉 (小関弘展: 医学部整形外科)		
第8回	11月30日 ホスピス 池松和哉 (益富美津代: 聖フランシスコ病院)		
第9回	12月07日 ホスピス 池松和哉 (益富美津代: 聖フランシスコ病院)		
第10回	12月14日 救命救急からみたヒトの生と死: 救命センターには多くの重症患者が搬送され高度な治療が施されるが、一部の症例は救命できない。重症患者の背景や概要、救命に向けた社会や病院の取り組みについて紹介したい。 田崎 修: 医学部救命救急センター		
第11回	12月21日 重症患者は時に「脳死」という状態に陥る。脳死患者には臓器移植という選択肢が残る。臓器移植を提供側の救急医の視点から概説する。 田崎 修: 医学部救命救急センター		
第12回	1月04日 人の死とは(1)? 池松和哉 (山本琢磨: 医学部法医学)		
第13回	1月18日 人の死とは(2)? 池松和哉 (山本琢磨: 医学部法医学)		
第14回	1月25日 病死と外因死 池松和哉 (梅原敬弘: 医学部法医学)		

第15回	2月01日 自殺について考えてみよう 池松和哉（梅原敬弘：医学部法医学）
第16回	

学期 / Semester	2015年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Class period	2015/09/28 ~ 2016/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20150587047101	科目番号 / Subject code	05870471
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	心身の健康と生命 (きずなの脳科学)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有賀 純		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有賀 純		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有賀 純, 篠原 一之, 土居 裕和, 木原 敏晴		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態 / Class form	講義
教室 / Class room	教養教育A棟12		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	aruga@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	大学院医歯薬学総合研究科 医科薬理学		
担当教員TEL/Tel	095-819-7043		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水 16:30 ~ 17:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトに限らず多くの動物では社会行動が見られる。脳の働き、発達、疾患について理解を深め、現在の脳科学が、社会行動のしくみをどのように解明しようとしているのかを学ぶ。		
授業到達目標/Goal	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脳科学と社会性行動の成り立ちについて、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力)。</li> <li>2. 講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができること(考える力)。</li> <li>3. グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。</li> <li>4. 講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができること(表現する力)。</li> </ol>		
授業方法(学習指導法)/Method	PCプロジェクトを利用したスライド講義の他、講義内容に関連する課題、実習等を行う(グループワーク含む)。		
授業内容/Class outline/Con	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス：学習目標と方法</li> <li>2. 神経科学の基礎</li> <li>3. 哺乳類脳の構造と機能</li> <li>4. 感覚系の成り立ち</li> <li>5. 運動系の成り立ち</li> <li>6. 脳と行動</li> <li>7. 脳と社会性行動</li> <li>8. 脳と言語</li> <li>9. 性と脳</li> <li>10. インターセックス(半陰陽)の科学</li> <li>11. 脳科学・行動実験体験(1)</li> <li>12. 脳科学・行動実験体験(2)</li> <li>13. グループ学習(1)</li> <li>14. グループ学習(2)</li> <li>15. グループ学習成果発表・全体討論</li> </ol>		
キーワード/Key word	脳、性分化、母性、フェロモン		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経科学ー脳の探求ー ベアー他(著) 西村出版</li> <li>2. 神経科学テキスト 脳と行動 カールソン(著) 丸善</li> <li>3. 性同一性障害の基礎と臨床 山内俊雄(編著) 新興医学出版社</li> <li>4. 人にフェロモンはあるのだろうか? -ヒトケミカルコミュニケーションの生理学(香り選書16) 柏柳誠(著) フレグランスジャーナル社</li> <li>5. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison(著) Basic Books; New</li> <li>6. Milk (2008) Director: Gus Van Sant, Distributed by Focus Features.</li> </ol>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席点(予習課題) 25 レポート 25 グループワーク 25 プレゼンテーション 25		